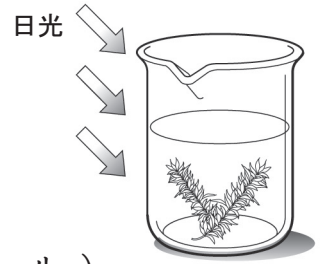


植物の体のつくりと働き(4)

名前

1 次の文章は、オオカナダモを使った実験についての説明である。

■オオカナダモ



() に当てはまる言葉を書くか、○でかこみなさい。

(1) 日光によく当てたオオカナダモの先端近くの葉を取って

顕微鏡けんびきょうで観察すると、細胞さいぼうの中に緑色の粒つぶが見えた。

この粒は (1)) である。

(2) (1) の葉を熱湯に 30 秒ほど入れたあと、(ヨウ素液・エタノール)

に入れて脱色し、水洗いして顕微鏡で観察すると、①が脱色されていた。このことから

オオカナダモの葉が (青紫色・緑色) に見えるのは、①があるからだわかる。

(3) (2) で脱色した葉に (ヨウ素液・エタノール) を加えて顕微鏡で観察すると、①が (青紫色・緑色) に変化していた。このことから (2)) が葉の細胞

の中の①で行われていることがわかる。

(4) 右の図のように、息を吹き込んで (黄色・青色) に調整

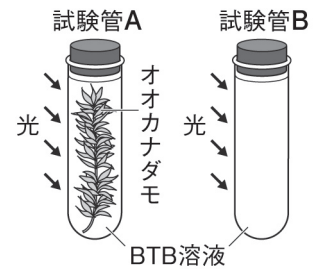
した BTB 溶液を 2 本の試験管 A、B に入れ、A の方にはオオカナダモを入れて、両方の試験管にゴム栓をする。

(5) (4) の試験管に日光を当てると、試験管 A の BTB 溶液は

(黄色に変わる・青色に変わる・変化しない)。また、

試験管 B の BTB 溶液は (黄色に変わる・青色に変わる・変化しない)。このことから、

②によって、水に溶けている (3)) が使われたことがわかる。



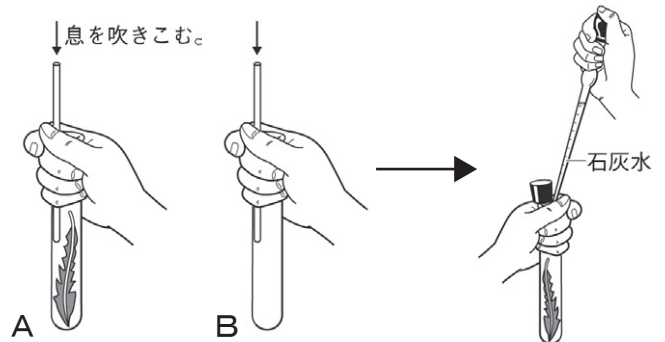
2 次のような手順で実験を行なった。以下の問いに答えなさい。

① 右の図のように、タンポポの葉の入れた

試験管 A と、何も入れない試験管 B に、ガラス管で息を吹き込みゴム栓をする。

② 両方の試験管を 30 分間日光に当てる。

③ 両方の試験管に少量の石灰水を入れ、ゴム栓をしてよく振り、変化を観察する。



(1) ①で試験管に息を吹き込むのは何のためか。

(2) ③で試験管 A と B 中の石灰水はそれぞれどうなるか。

(3) この実験から、光合成によって何という気体めいしょうが使われたことがわかるか。気体の名称を書きなさい。

(1)					
(2)	A		B		(3)